

第100回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

日時：2020年6月3日（水）18:30～20:00

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1階多目的室2

2 参加者数 15名

3 会議内容

<ことば蔵からのお知らせ>

新型コロナウイルス感染症対策のため、イベントの開催にあたって、フロアの利用に一部制限がかかる旨を説明。具体的には以下のとおり。

1. 参加者名簿の作成
2. マスクの着用
3. ソーシャルディスタンスの確保（最低1m、できれば2m間隔を確保）
4. 当日発熱（37.5℃以上、または平熱比+1℃）など、体調の悪い方は参加を控えて頂く

「3. ソーシャルディスタンス確保」にあたり、交流フロアの定員は最大20名とする。レイアウトや定員は個別に相談となるが、ことば蔵からレイアウト・定員について例示した。また、この条件は令和2年6月3日時点のものであり、制限については随時見直しされる旨を補足。

・講義形式（長机使用無し）→20名

・座談会形式（長机を使用）→8名

・座談会形式（ベンチを使用）→11名

・ワークショップ（長机に1名）→12名

・ワークショップ（親子参加型）→10組20名

<イベント実施報告>

・「??なに」から始まるプラモデル

プラモデルの製作会・プラモデルを力士に見立てたとんとん相撲大会・展示会を開催。

参加者は44名。保護者がプラモデル好きで、製作会に参加してくれた子どももいた。

とんとん相撲は距離が近くなるため現在は難しいが、また企画して第二弾を開催したい。

<新規提案>

(1) 鳥瞰図でみる酒蔵通りの今と昔

【概要】

・伊丹酒蔵通り協議会が、中心市街地活性化のため、2010年にガイドマップ「鳥瞰図」の初版を発行した。この10年間に酒蔵通りの風景や店舗は少しずつ変わっており、それに合わせて鳥瞰図も改版。今年の2月には第4版を発行した。

・1～4版目を見比べてみると、まちの変化が分かって面白い。これを地域の方にも見て楽しんで

頂く機会を設けたい。

- ・展示期間のうちの1日で、なぜ鳥瞰図を発行するに至ったのか、酒蔵通りの歴史、さらには意外と地域の方にも知られていない昔の話や、地域の教育史もお伝えしたい。

【意見】

- ・鳥瞰図を描きおこした人に来てもらったらどうか。
→声掛けはできるが、製作者はすごい人。簡単に引っ張ってきては値打ちがなくなってしまうので、無理してまで来てもらおうとは考えていない。
- ・図書館が発行している郷土紙「伊丹公論」と絡めても面白いのではないか
→一度イベントを聞いて、鳥瞰図を見て、面白いと感じてもらえたら、絡めてみてはどうだろうか。

(2) キッズ・サバイバー講座

【概要】

- ・2019年12月に開催した、減災インストラクター講座の第2弾として、地震から身を守る減災知識を身に付ける講座を開催したい。
- ・定員は小学生9名に限定。動き回るのは難しいので、シェイクアウトや避難場所の確認等、内容を少し限定する。
- ・子どもが飽きない工夫として、○×のような2択クイズやビンゴゲームを取り入れ、参加した子ども全員が最終的には景品をもらえるようにする。

【意見】

- ・阪神大震災を子どもたちに知ってもらうために、防災センターのパネルを借りてはどうか。もしくは時勢に合わせてコロナと絡めてみてはどうか
→参加者である子どもたちに、身を守るために必要な知識を覚えてもらうことを第一に考えている。阪神大震災や東日本大震災の事を伝えたいと思ったこともあるが、意図的に外している。
- ・保護者の方が一緒に来た際に、ソーシャルディスタンスの確保などは大丈夫か。

(3) ひきこもりさんに届けるお手紙を作ろう

【概要】

新型コロナウイルスの影響で、自粛期間を過ごした経験を踏まえて、ひきこもりの方に送るメッセージをみんなで考えるイベントを開催したい。実際には手紙を送ることは難しいので、参加者同士でつくったメッセージを共有するところで留める。

【意見】

- ・参加者がつくった、引きこもりの方へのメッセージをどうアウトプットするか？
→作品を並べて参加者同士で共有する。可能であれば、その作品を一定期間ことば蔵で展示したい。
- ・引きこもりの方は様々な理由や事情を抱えているので、参加対象は明確にした方がよい。対象を引きこもりの方とする場合、専門家のサポートを得て適切な方法で引きこもりの方へメッセージや言葉を発信する方がよい。
- ・タイトルについては、概要が決まってからそれに即した形で決めたほうがよい。

(4) 気になる本で話そう『夫のトリセツ』

【概要】

今年1月25日に開催した「気になる本で話そう『妻のトリセツ』」は、これまでの開催で最も多い18名が参加し、その4割が男性の参加だった。今回は同著者の『夫のトリセツ』を題材とし、イベントを開催する。妻、夫それぞれの立場からどういう風に寄り添えば良いか、どのようにお互いの思いを伝えるべきか等、参加した人の会話の中から気づきを得てほしい。

【意見】

特になく、令和2年6月27日（土曜日）14時から開催予定。

4 次回の運営会議 2020年7月1日（水）18：30～ 図書館ことば蔵1階